

中京

いただきます。展

2016年

中京青少年活動センター

「スタートアップ for youth」



アート(特に日本画)に関心があり、アーティストと社会をつなぎたいという思いをもった青少年の相談から、センターでの作品展示「いただきます。展」の実現をサポートしました。作品を展示し、多くの利用者に観覧してもらうことができました。また、ライブペイントを実施し、観覧者に日本画が制作される様子をみてもらう機会もつくりました。実施後のふり返りでは、「日本画を描く様子を初めてみた」等の感想をもらった「これまで日本画に興味を持っていなかった人にもみてもらえて、感想をもらえて嬉しかった」と、達成感を得ていました。彼らはこれを機にアートグループを結成し、アートに触れるワークショップの企画運営などの活動を続けています。

下京

ダンスイベント  
Collection

2016年～現在

下京青少年活動センター

「プラン・ドウ」

ダンスイベントを開催したいと話す男子中学生の思いから立ち上がった「ダンスイベントCollection」。慣れないながらも運営に関する様々な準備を、ユースワーカーと相談しながら進めました。初回の出演9団体・観客36名から、第2回は出演11団体・観客90名、第3



回には出演16団体・観客250名と大規模なイベントになりました。主催者の彼が熱心に広報活動をおこなったことで、出演・来場者が徐々に増えていきました。「ダンスイベントCollection」を、京都を代表するダンスイベントにしたい」と語ってくれる彼を、引き続き応援しています。

伏見

らさんて

2017年

伏見青少年活動センター

「つながりカフェ」



「こんなことやってみたいんやけど、どうやったらいいんかな?」  
想いの大小はありますが、青少年と関わっている中では珍しいセリフです。  
そんな何かにチャレンジしたい思いを持っているが「悩んでいる・困っている」青少年に対し、ユースワーカーと一緒に考えながら「やってみたいこと」のサポートを市内7カ所の青少年活動センターで行っています。  
今回は、これまでサポートしてきた活動の一部をご紹介します。

TOPICS

彩り豊か!  
やってみたい  
をサポート!

青少年活動センターでの  
活動応援事業



7月にセンターで開催された手づくり市に出店することになりました。素材の良さを引き出すメニューを考案し、お客さんから「おいしかった」と良い反応が得られていました。現在は店舗を持たない移動カフェとして、京都市内いろんな場所やイベントに出店しています。

東山

音楽ライブ  
ゼストポルタ

2016年

東山青少年活動センター

「自主活動企画支援事業

～夢のスタートライン～」

当時、高校生3年生バンドの「キーマカリーズとチチワシネマ」は、受験のため活動を休止することになっていました。「最後にいつも練習している場所に人を集めてライブがしたい」との想いで、スタジオライブの企画を持ち込んでくれました。スタジオでのライブ、ロビーで弾き語り、と絵の展示、創造工作室でシルクスクリーンを使ってTシャツを作るなど、彼らの多様な発想を実現するため、打ち合わせを行い、全て実施しました。ライブでは5バンドが出演し、参加者も多く集まり

ました。参加者からは「バンドが区役所の横でライブをするのが面白い」「ライブハウスではありえない禁煙・禁酒・土足禁止」など、一般のライブハウスとは違ったシチュエーションに意欲的な言葉が寄せられました。ライブでは、青少年センターの歌というオリジナル曲も演奏してくれました。  
また、ライブに来ていたバンドがセンターでのライブを開催しており、ライブ企画の走りとなりました。

みえてくるもの

事例のように様々な企画を単発や継続的にサポートしています。企画する青少年は、計画から実施後までの経験を通して様々なものを得ることが出来ます。そして、これらの活動を足がかりに新たな一歩を踏み出しています。このような経験の積み重ねが主体性に寄り添った活動から見えてくるものの1つではないかと思えます。自ら何かを感じ、考えて、発信したいな! と思ったとき、青少年活動センターならできるかもしれない、そう思ってもらえるような場であり続けたいと考えています。